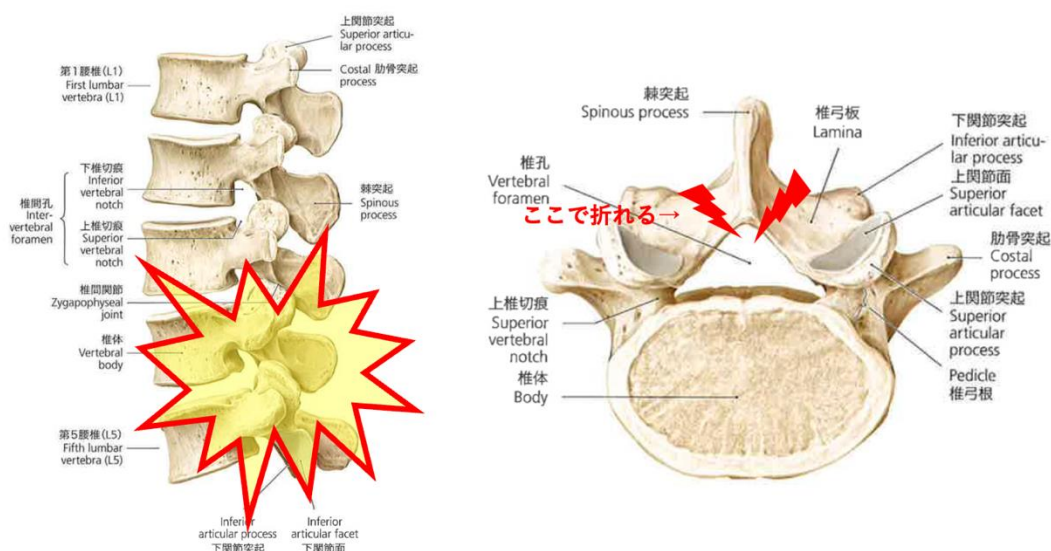


腰椎分離症

腰椎分離症とは

スポーツを頑張っている学生に多く、症状としては、腰痛が主な症状で、そのほかにお尻や太腿の痛みを出す場合があります。痛みは腰椎を後ろにそらせた時に強くなります。



好発年齢は？

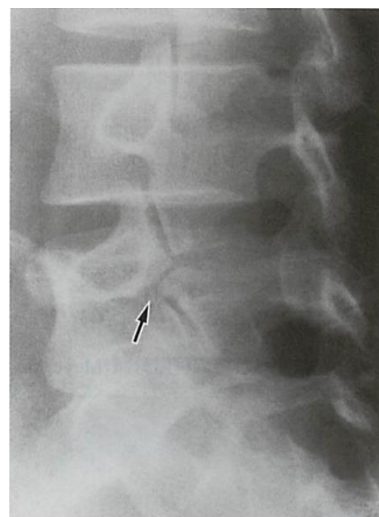
10～15 歳ころから生じます
成人以降も、腰痛、下肢の痺れを訴えることがあります。

発生原因は？

多くは中学生頃に、ジャンプや腰の回旋を行うことで腰椎の後方部分に亀裂が入って起こります。1回で起こるわけではなく、スポーツの練習などで繰り返して腰椎をそらしたり回したりすることで起こります。一般の人では5%程度に分離症の人がいますが、スポーツ選手では30～40%の人が分離症になっています。
分離症は10歳代で起こりますが、それが原因となってその後徐々に「分離すべり症」に進行していく場合があります

どうやって評価するの？

若田接骨院では提携している専門医に対診していただきます
その後の治療は、当院で行うことは可能です。



治療はどうやってやるの？

専用のコルセットを装着し安静にしてもらいます
安静期間は程度によりますが約6ヶ月は運動中止になることが多いです
当院での治療は患部の修復を早めるためのLIPUSを照射します。
また下肢柔軟性の獲得、体幹トレーニングを徹底的に指導していきます



なかなか治らない学生の腰痛は、分離症の可能性が高いです。我々は運動復帰までしっかりサポートしていきます